

# 不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.30 (2018.9.27)

平成30年度スローガン  
みんなで目指す顧客感動経営  
140年企業としての誇り  
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

先日福祉関係のケースワーカーの経験がある方の話を聞く機会がありました。今から30年ほど前の出来事だったのですが、果樹を主に栽培しているある農家を担当されていた時に経験されたお話しでした。その40代の父親はアルコール依存症のため、満足に働くこともできない状況で経済的にもかなり苦しい家庭でした。奥さんと高校生と中学生の娘さん、それに小学生の男の子5人家族でしたが、奥さんにはなかなか会えない状況だったそうです。父親がそういう状態のために、詳しい状況を聞こうと奥さんに会わせてほしいと頼むのですが、「妻には会わなくてよい」の一点張りで、奥さん自身もかなり控えめな方なかなか会うことができなかったようです。そんな中ある事がきっかけで奥さんが個人病院にかかっており、その病名が乳がんであることを知りました。すぐにその家庭を訪問したのですがやはり会わせてもらえません。そのケースワーカーは半ば強引に家の中に立ち入りどうにか奥さんに会うことができました。するとその顔は薬の副作用で浮腫み、数年前の容貌からは想像できない姿になっていました。当然もっと大きな総合病院を受診するように強く勧めたのですが、色よい返事は無かったそうです。それから数か月後、奥さんは帰らぬ人となりました。ケースワーカーのその方は、「あの時もっと強く総合病院の受診を勧めていれば、助かったかもしれない。子供たちの事を思うと不憫でならない」と30年以上経った今でも激しい自責の念に駆られトラウマになっているとの事でした。

健康経営については何度もこの紙上で説明してまいりました。癌などの深刻な病気になって一番辛い思いをするのは言うまでもなく本人ですし、突然家族を失うことにより家庭の幸せな日常は一転して悲しみのどん底に陥ることにもなります。企業経営に於いても突然貴重な人材を失うことは大きな痛手であることはもちろんの事、企業存続を左右する事態にもなりかねないのです。先月の職員会議では健康診断で要再検の判定をされながらまだ二次検診を受けていない人のリストが公開されております。今年度から二次検診のための特別休暇制度も設けてありますし、就業規則で受診を義務付けております。仕事の合間を見つけできるだけ早く受診し結果を総務部に報告するよう再度お願い申し上げます。

## 健康経営とは何か

社員の健康は重要な経営資源。病気の予防に投資をすれば2～3倍になって業績にはね返ってくる

### 健康投資(1ドル)

- 人件費 (健康・医療スタッフ、事務スタッフ)
- 保健指導等利用費 システム開発・運用費
- 設備費 (診療施設、フィットネスルーム等)

### 投資リターン(3ドル)

- 生産性の向上 欠勤率の低下 プレゼンティーズムの解消
- 医療コスト削減 疾病予防による傷病手当での支払い減 長期的医療費抑制
- モチベーションの向上 家族も含め忠誠心と士気が上がる
- リクルート効果 就職人気ランキングの順位上昇で採用が有利に
- イメージアップ ブランド価値の向上 株価上昇を通じた企業価値の向上

「ニューズウィーク日本語版2011年3月2日号」より

## 雷門盆踊りに当社の絵灯ろう

9月7-8日、東京浅草で開催されたお祭りに、湯沢の絵灯ろうが飾られました。知人が見に行ってくれて、画像を送って頂きました。光ガラスさんの絵灯ろうもあり大変好評だったそうです。



## 全国建設業労働災害防止大会

9月20～21日パシフィコ横浜にて開催された大会に参加して参りました。全国的な安全衛生水準の向上を図るため開催されています。労働災害防止活動に顕著な功労・功績のあった安全功労者として東成瀬の鈴木建設工業が表彰されました。



## うどんエキスポに駐車場提供

9月29-30日、第8回うどんエキスポが開催されます。今年は初の試みとして東京の「軒先」という会社とコラボして当社の駐車場を貸し出し致します。今のところ申し込みはありませんが、両日は南側12台分は空けて建物側に駐車願います。

